

Event Schedule

9 September

9月13日(木)	後学期授業開始【教】
9月17日(月)	敬老の日は、通常どおり授業を実施する。【教】
9月18日(火)	SPI2 課外講座説明会【就】
9月20日(木)	司法科研究室入室入替え試験【工】 社会保険労務士講座・説明会【工】 第2回総合就職ガイダンス【就】 日経講座・日本語検定説明会【就】 自己分析・エントリーシート作成ガイダンス【就】
9月21日(金)	公務員講座・演習コース説明会【工】
9月27日(木)	司法書士講座・答案練習会説明会【工】 会社四季報を使いたい会社の選び方ガイダンス【就】 業界研究ガイダンス(入門編)【就】
9月28日(金)	後学期開講科目履修登録締切【教】
9月29日(土)	(1・2年生のための)進路適性検査【就】 (1・2年生のための)就職ガイダンス (含:進路適性検査フォローアップセミナー)【就】

10 October

10月5日(金)	司法書士講座・基礎講座説明会【工】
10月6日(土)	マスコミ業界研究セミナー及び分科会 (校友会共催)【就】
10月8日(月)	体育の日は、通常どおり授業を実施する。【教】
10月11日(木)	エントリーシート攻略テスト【就】 R-CAP(自己診断テスト)【就】
10月13日(土)	第35回法律討論会(於:10号館1011講堂)【研】
10月15日(月) ~16日(火)	後学期開講科目登録中止期間【教】
10月17日(水)	未内定者のためのフォローアップセミナー (全学部合同)【就】
10月20日(土)	定期無料法律相談会【研】 キャリア教育講座【就】
10月24日(水)	日経講座「ビジネスの基本」①【就】 日経講座「ビジネスの基本」②【就】
10月25日(木)	業界研究ガイダンス(信用金庫業界)【就】 日経講座「ビジネスの基本」③【就】 日経講座「ビジネスの基本」④【就】
10月31日(水)	日経講座「ビジネスの基本」⑤【就】
10月上旬	公務員業務説明会参加心構えガイダンス【就】 リクナビ講習会【就】 マイナビ講習会【就】
10月上旬~下旬	各種業界研究ガイダンス【就】 各種公務員業務説明会【就】 内定者による活動報告&相談会【就】
10月中旬	平成25年3月卒業及び留年に関する手続期間 (4年次生対象)【教】
10月中旬 ~11月中旬	ゼミナール説明会・公開ゼミナール(2年次生対象)【教】

11 November

11月1日(木)	第33回法桜祭準備日(休講)【学】
11月2日(金) ~4日(日)	第33回法桜祭(休講)【学】
11月3日(土) ~4日(日)	オープンキャンパス(秋)(法桜祭と同時開催)【入】
11月5日(月)	第33回法桜祭後片付け(休講)【学】
11月8日(木)	エントリーシート攻略テストフォローガイダンス【就】 R-CAP(自己診断テスト)フォローガイダンス【就】
11月9日(金)	読売新聞「日本語検定」(文部科学省後援)【就】
11月15日(木)	自己表現力向上ガイダンス(校友会共催)【就】 元人事担当者による特別講演【就】
11月18日(日)	巡回無料法律相談会(於:甲府市)【研】
11月19日(月)	業界研究ガイダンス(情報分析編その1)【就】
11月22日(木)	面接対策ガイダンス【就】
11月24日(土)	定期無料法律相談会【研】 キャリア教育講座【就】
11月26日(月)	業界研究ガイダンス(情報分析編その2)【就】
11月29日(木)	公開模擬面接【就】
11月上旬	SPI2 WEBテストガイダンス【就】
11月上旬~下旬	各種業界研究ガイダンス【就】
11月中旬	ゼミナール入室申込期間(2年次生対象)【教】
11月中旬~下旬	SPI2 対策テスト【就】 SPI2 WEB対策テスト【就】
11月下旬	ゼミナール入室試験(筆記)(2年次生対象)【教】
11月下旬 ~12月上旬	ゼミナール入室試験(口述)(2年次生対象)【教】

12 December

12月1日(土)	OB・OG就職相談会(校友会共催)【就】
12月7日(金)	後学期授業終了(4年次生のみ)【教】
12月8日(土) ~20日(木)	卒業試験期間(4年次生対象)【教】
12月15日(土)	定期無料法律相談会【研】
12月24日(月)	天皇誕生日振替休日は、通常どおり授業を実施する。【教】 年内授業終了(1~3年次生)【教】
12月25日(火) ~27日(木)	補講期間【教】
12月上旬	クリスマスイルミネーション点灯式(予定)【学】
12月上旬~中旬	企業研究セミナー【就】
12月中旬	未内定者のためのフォローアップセミナー (全学部合同)【就】
12月下旬	グループディスカッション講座【就】 業界別個人模擬面接【就】

各項目についての不明点等は、各担当部署にお問い合わせください。
また、略字は次の通り。
【教】教務課 【入】入学センター 【学】学生課 【研】研究事務課
【工】エクステンションセンター 【就】就職指導課
※日時や詳細が決まり次第、掲示板およびホームページにてお知らせします。

日本大学法学部

Journal Vol.7



私たちのリアルレポート

【Zoom in 24時間】

一日の中であなたの「プレシャスな時間」は？

大学での授業やゼミの時間以外にも実はみんな密かに「自分の時間」をもっている。
それは、たとえば夢の実現のための時間、ずっと続けている趣味の時間。
そんなプレシャスな時間に迫ってみた。



政治経済学科 3年 長友 美沙紀
政治経済学科 3年 福田 多恵

大好き、アルバイト!

授業の時間以外をほぼアルバイトにあてている2人。「料理やお菓子づくりが好きなので、廃棄のお菓子がもらえるかも…」という不純な動機で(笑)長友さんはお菓子屋で。福田さんは「近所のスーパーで、レジ打ちから荷物運びまで何でもやります。力仕事は好きなので。お小遣い以外にアルバイトのメリットは?」勉強のいい息抜きになること、コミュニケーション能力がつくこと(長友さん)、「かえって集中して勉強できる。社会常識が身につく。よく動くのでよく眠れることですね(笑)」(福田さん)。



新聞学科 2年 石川 愛

放課後のアナウンススクール

最初の授業の日に教授から「夢は決まっているの?」と聞かれ、「盛岡の高校で野球部のマネージャーをやっていました。いつか母校で監督にインタビューしたい!」と答えた石川さん。新聞記者、編集者、アナウンサーと選択肢はいろいろある中で、目下の夢は「恥ずかしながらアナウンサー(笑)。今年からテレビ朝日のアナウンススクールに通い、自己アピールの方法からメイクまで猛特訓中。「生の舞台やスポーツを積極的に観て、自分の糧にしていきたい」と、アナウンス技術以上に自分磨きに努めています。



法律学科 1年 井上 雅彦

ロックをひたすら愛す

授業のあと塾でアルバイトをして帰宅。「23時」が好きなロックをiPodで聴く井上さんのプレシャスタイム。60年代と80年代が好き。「60年代はビーチボーイズ、ビートルズ、ドアーズ、パーズ……。音楽がまだ産業的ではなかった時代の神秘性にひかれるし、社会に迎合しない誇りや独創性といったものが僕は好き。80年代はプリティッシュ。クリエイション・レーベルがだしているものはほとんど聴いている」。輸入盤のCDを中心に500枚。部屋の専用棚にきちんと収納されている。最近のお気に入りには新人のヴァクシーンズ。

Morning

The Daytime

After School

Night

Midnight

6:00

10:00

12:00

17:00

20:00

24:00



法律学科 2年 山川 耕平

朝ベッドでごろごろ思索

「一日のうちで、一番プレシャスに感じる時間は、朝目がさめて布団の中でごろごろしている時間」。それも10分や20分じゃなく、「6時に目がさめて8時まで」の2時間。たいていは音楽のことを考えている。たとえば、ロック史について。映画とロック、洋ゲー(海外ゲーム)は幼少の頃からの趣味で、人生最初の記憶はジョン・ローン主役の「アイスマン」。60年代の英ロックバンド『プロッサム・トゥーズ』『ニルヴァーナ』などがお気に入りだが「同世代に趣味を共有できる友だちがいないのが残念」。興味のある人、声をかけてほしいそうです。



公共政策学科 3年 奥山 慧人
政治経済学科 4年 千葉 晃嗣
政治経済学科 4年 永田 卓

図書館で集中する時間

家では気が散って勉強できない、という3人が集中して勉強できる場所は法学部の図書館。「とっている授業と授業の空きの90分を利用して課題をやることが多い(永田さん)」「人が減ってくる夕方以降の時間に集中して2~3時間。パソコンが使えるのもいい(千葉さん)」「一日の授業が終わった後に図書館で少し勉強してから家に帰ることも(奥山さん)。図書館はきれいだから好き、という一方、他に学生が居られる場所がない…という本音もあるようです。

軽音サークルの仲間と

歌うことも音楽を聴くことも大好き。「音楽だけではなく、レジャーの部分もすごく大事にする」軽音サークルに所属し、音楽も遊びもサークル仲間と一緒に最高に楽しいという池田さん。先日、現役として参加する最後の定例ライブがありました。「合同ライブとかいろいろなライブがある中でも、毎月の定例ライブはすごくアットホームで、たとえ知らない曲でもノって演奏したり歌ったりできる温かさが好きです。サークルに入って初めての定例ライブのことなどがわあ〜っと思い出されて、すごく感慨深かったですね。」



法律学科 3年 池田 優女

寝るのがもったいない

「バイト終わって10時ごろ家に帰って、ご飯食べて。それからです、自分の好きなことに使える時間は。みんなそうだと思いますよ」。瀬高さんの好きなことは、ゲーム、マンガ、ネット。「3時ごろまでずるずるやって、眠いと思うけど、寝るのがもったいなくて。すごく幸せな時間。外が明るくなってきた頃にベッドに入って、1限目の授業がなければ昼まで寝ます」。もちろん勉強が詰まってきたときには、夜の時間に集中して勉強。いずれにしても静かな自分だけの時間。



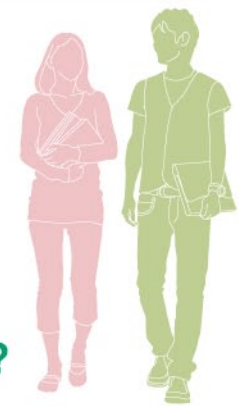
公共政策学科 3年 瀬高 亜寿香

私たちのリアルレポート 【Zoom in 24時間】

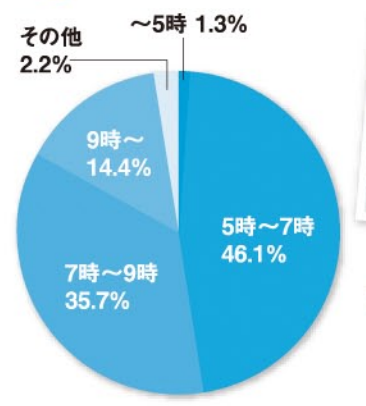
アンケートからみる 日大法学部生の24時間



何気ない一日の「あなたの24時間」と、少し気になる「プラスα」について
 法学部5学科の1~4年生を対象にアンケートを実施(2012年7月)。
 楽しみ、学び、交流し、リラックスし…あなたは「時間」という有限の資源を使い切っていますか？

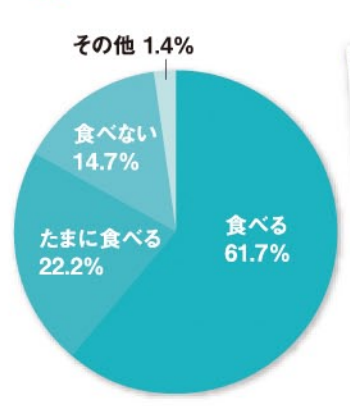


Q1 起床時間は？



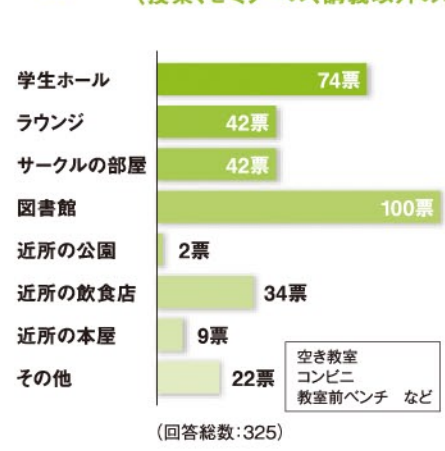
comment
 約半数が朝7時までに起きて
 いるという結果に。法学部
 生は意外と早起きですね。

Q2 朝食は？



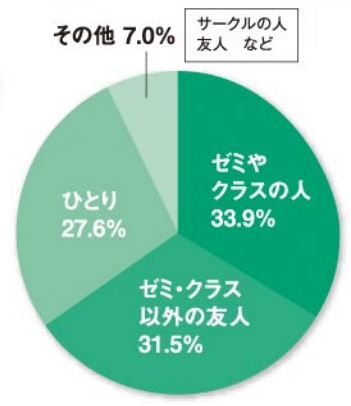
comment
 「たまに食べる」を加えると
 8割以上が朝食を摂ってい
 ます。朝兼食という回答も。

Q3 大学で過ごす場所は？ (授業、ゼミナール、講義以外の時間)



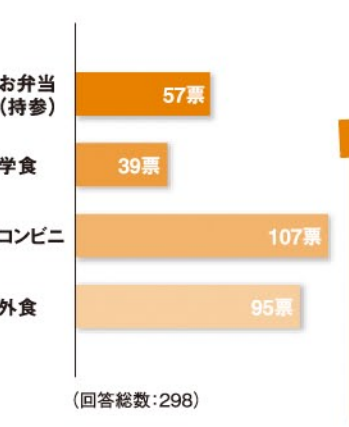
comment
 複数回答が多く過ごす場
 所は多彩。飲食店や本屋など
 街中の大学ならではのね。

Q4 「Q3」で一緒に過ごす人は？



comment
 友人・仲間と一緒に多い
 けど、「ひとり」も約3割と
 少なくありません。

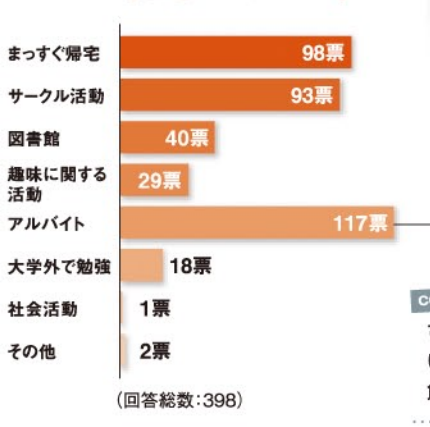
Q5 お昼ご飯は？



comment
 立地からコンビニ・外食が
 多いのはうなずけますが
 お弁当を持参する人も案外
 多いですね。

- オススメのお店**
- 井達 ●龍龍軒 ●鳥どり ●いもや
 - 肉屋の正直な食堂 ●キッチン南海
 - 伊のマガキ ●ライスカレー まんてん
 - チェゴヤ ●ねこのしっぽ ●やすべえ
 - 日向丸 ●丸亀製麺 ●BASE CAMP
 - 肉そば けいすけ ●ガスト ●無花果
 - ラーメン二郎 ●吹風カレー ペルソナ
 - マクドナルド ●ドトール ●ソウル村
 - WASHA WASHA ●利根そば

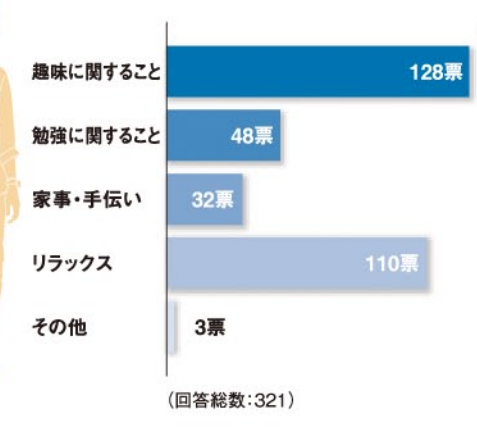
Q6 放課後は何をしていますか？



アルバイト内訳
 ・飲食系 ……68票
 ・販売系 ……20票
 ・塾講師など教育系 ……11票
 ・事務系 ……3票
 ・その他 ……15票

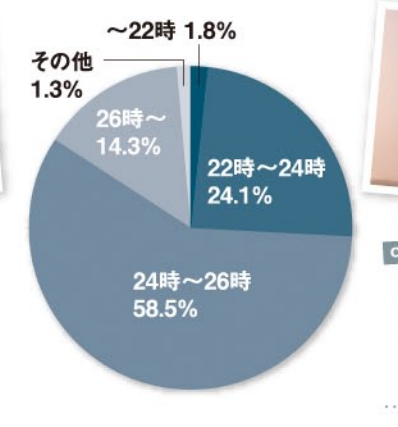
comment
 ひとり平均2項目を選択して
 います。1位のアルバイトは
 飲食系がダントツ人気。

Q7 自宅での過ごし方は？



comment
 自宅では趣味を楽しみ
 リラックスする人が多数。
 勉強は少数派のよう
 です。

Q8 就寝時間は？

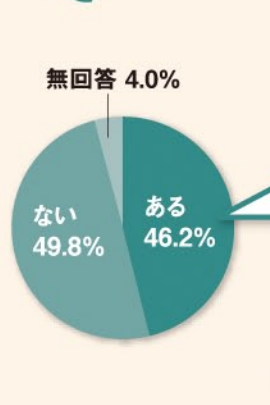


comment
 早起きでも就寝時間は
 8割以上が24時以降。
 みんな「寝るのがもった
 いない」!?

※写真はイメージです。

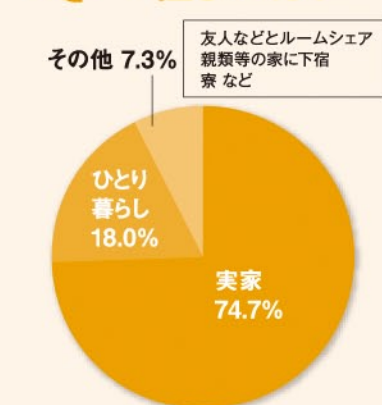
プラスα もう一步踏み込んで聞きました!

+Q1 ハマっていることがありますか？



フルーツグラノーラを 食べる(政治経済学科 1年)	就活。インターンシップの選考会、週1で いろいろな企業に出向く(公共政策学科3年)
ゼミ。さまざまな概念を勉強するのが楽しい (新聞学科 3年)	掃除 (政治経済学科 3年)
電車内で昔流行った ゲームをする(法律学科 3年)	とにかくブラブラすること目的は全くなし、 新たな発見がたくさんある(政治経済学科 1年)
旅。月1回でかけています。夏休み には1週間程度。(公共政策学科 3年)	ポケモンのゲーム。寝る間も 惜しんでやっている(経営法学科 2年)
中国語。中国人の友達にかわいい子がいて コミュニケーションをとりたいから!(政治経済学科 1年)	クロスバイク。風が 気持ちいい(政治経済学科 3年)

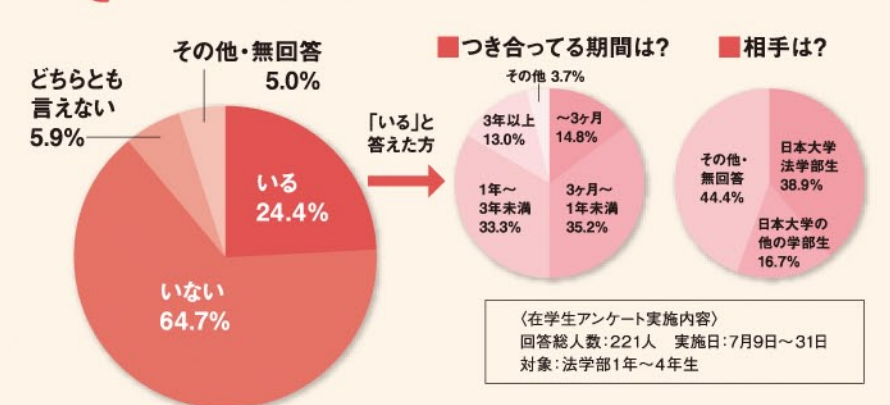
+Q2 あなたの住まいは？



+Q3 利用しているSNSは？



+Q4 ところで…つきあっている人はいますか？



Zoom in あなたのバッグ

普段のバッグに入っているものから見えてくる! 自分らしさ、こだわり、家族の愛。

大倉 士門【政治経済学科 2年】

京都の出身です。何事も上をめざすなら東京や! と思い、大学から上京しました。原宿のヘアサロンのモデルをきっかけに、大学1年の秋ごろから本格的にメンズ雑誌の読者モデルを始め、現在は『CHOKiCHOKi』『FINEBOYS』『kirari』『Popteen』などに載せてもらっています。読者モデルをやっているとよかったことは、スタイリストとか雑誌社の方とかカメラマンとか、目上の方と接する機会がめっちゃ多くて勉強になること。だれかれできる仕事じゃないので誇りをもってやっていますし、読者モデルをやったからつまらない学生生活だろうなと思う反面、やっぱり学業を犠牲にしているところもある。本業は学生だということを忘れないで、いつまでも謙虚な姿勢でやっていきたいです。



ZOOM IN BAG

PICK UP ITEM 1



自分と向き合う(?)手帳

「みかけによらず几帳面な字で驚かれますが、A型なんです。授業や撮影予定のほか、目標や自分へのメッセージも。2012年6月の欄には「自分の本業は学生ということを忘れない!!」と。

PICK UP ITEM 2



着替えのTシャツ

例えば今日は、朝5時半に起きて6時50分から雑誌の撮影、大学で1限の試験を受け、それからまた業界誌の撮影。美容室で髪を整える間に、汗だくのTシャツを乾かしてもらって再び大学へ。化粧ポーチとワックスも必需品。

PICK UP ITEM 3



ファンレター

編集部が届く読者からのファンレター。空いている時間に返事が書けるように、便箋も持ち歩いています。ツイッターで「いま原宿で士門くん会った」といったつぶやきもあり、だんだん外でも気が抜けないように。

かに 蟹 やよい【法律学科 3年】

高校生のときに政治経済で憲法を学ぶ機会があり、憲法に興味をもったのが法律学科を選んだきっかけです。白黒は好きですが、という自分の性格にも合っていると思います。普段もっているバッグは一年中使えるデザインで、色も洋服に合わせてやすく、これひとつに授業の資料ファイルから水筒、ポーチ、デジカメなど全部入るお気に入り。ゼミのある日はポケット六法も余裕で入ります。このバッグの前に使っていた同じサマンサベガのものを、自転車のかごに入れて革を傷めてしまったので、今度は少し重いけど肩にかけて乗っています。ちょっと腕が太くなったかも(笑)。震災後は、親から言われてカロリーメイトを必ずバッグに入れておくようになりました。



ZOOM IN BAG

PICK UP ITEM 1



愛用のデジカメ

高校生にときに父親に買ってもらったもの。友だちと一緒に食事に行ったときのご飯とか、出かけ先でも何でも撮ります。ブログに載せるとか目的があるわけじゃなく、自己満足で。

PICK UP ITEM 2



化粧ポーチと猫柄のチーク

猫の模様のチークは、去年の夏に韓国に旅行したときに買ったもの。かわいくて、なかなか使えなくて。模様を崩したくないので、たまにささっと使うくらいです。あとは友だちに見せたり(笑)。

PICK UP ITEM 3



1週間分の授業ファイル

仕切りのあるファイルに1週間分の授業資料を曜日ごとにセットしています。こうしておけば忘れ物もないし…ちょっと重いですが。家に帰って、不要になったものを抜いて更新しています。

私たちのリアルレポート

誰にも熱いストーリーがある。夢中になり、走り、笑い、汗をかき、ときに涙を流し。

資格にチャレンジ

1年次にはテンションが上がらず散々だった英検2級とTOEIC®ですが、2年になり自分の意志で再チャレンジしたら、英検は受かりTOEIC®のスコアは200点以上アップ。自信がついて、今年(3年)は英検準一級にも合格しました。検定料を自分で払ったので(1年次は母親)絶対に落ちたくない、というもあって(笑)。将来は弁護士事務所の秘書か、銀行に勤めたいと思っているので、就職を意識してまず秘書検に合格。次はファイナンシャル・プランナーをめざしています。

ボランティアで小学生にバレーボールを教え、自分自身も法学部のサークルに所属しています。他にもジャニーズスター追っかけと活動資金づくりのアルバイト。家で机に座って資格の勉強をする時間がないので、移動中の電車内で集中してやります。資格取得は自分だけが頼りで孤独ですが、私の場合は趣味やボランティアなど全く違う世界があるから、そこでリラックスできるし頑張れる気がします。

PICK UP ITEM



同居しているおじいちゃん、おばあちゃんの部屋に飾られている英検・秘書検の合格証。「自分のこのように喜んでくれて、私が小学生の頃からの賞状が全部飾ってあります」



法律学科 3年 小野 愛菜



政治経済学科 4年 益子 将太郎

国際ボランティア

NPO法人国際ボランティア学生協会、通称IVUSAには86大学、2千人の学生が所属しています。昨年12月、代表選に立候補して、「消費に慣れたゆとり世代の真逆をいき、ひとを楽しませて、自分の喜びになる生産者になる」と訴えて当選。今年4月から20期の学生代表として活動しています。

九十九里浜66キロを300人の学生で清掃する活動や、つくば市の竜巻被害の救援などさまざまな活動に携わってきましたが、やはり東日本大震災の被災地救援には特別な思いがあります。気仙沼でわかめの養殖をしている漁師さんたちから、養殖網に土嚢をつける作業を手伝ったあと手紙をいただき、「養殖を続けていくことに迷いがあったが、君たちのおかげで続ける決心がついた」と。嬉しかったですね。微々たるものだけど、力になれたのかなど。将来も、ひとの生きる力をつくれるような仕事をしたいと思っています。

PICK UP ITEM



学生代表の名刺と手帳は必需品。IVUSAは国際協力・環境保護・災害救援・地域活性化の4つの分野で活動している学生中心のボランティア団体。

本の執筆・出版を体験

新聞学科の福田 充ゼミ8期生7名が分担して執筆し、福田先生の編著によって『大震災とメディア—東日本大震災の教訓—』という本を、2012年4月に発行しました。大変だったのは、本のベースになっているアンケート調査。江戸川区の20歳以上の方を対象に「東日本大震災におけるメディア利用の調査」をお願いして回ったのですが、飛び込みで玄関チャイムを鳴らしても断られることがほとんどで。辛くて泣いたりもしましたが、「がんばって！」と冷たい飲み物をくださったり、知り合いに渡して下さったりといったことに励まされて、目標の400票を集めることができました。

私自身5歳のときに大阪で阪神淡路大震災を経験し、再び東日本大震災に遭いました。この経験を伝えていくことが大事だと思っています。8月にはゼミ長と私が代表して岩手県庁を訪問し、印税の全額を本と一緒にお渡しすることができました。

PICK UP ITEM



東日本大震災において、メディアは支援行動や団結意識を発生させるプラス効果と買いだめや風評被害を発生させるマイナス効果の両方をもたらした可能性がある。この仮説を手束さんはじめゼミ生の汗と涙のアンケート調査をもとに解析した力作。



新聞学科 3年 手束 千鶴

法桜祭実行委員会

法桜祭の実行委員になって今年で3年目。2年生のときには広報局・宣伝班のチーフを任せられました。フリーペーパーを作るのが大好きなんです！中学のときからお笑い芸人の追っかけをしていて、プレスのひとや芸能人と話すチャンスがあり、将来は伝える側の仕事がしたいなと思うようになったのがきっかけ。宣伝班でもフリーペーパーの編集・発行を担当していて、去年から私が発案して配った「ティッシュ配り号」(ティッシュの中に入れるミニ版のフリーペーパー)は、高校生にも「かわいい〜」と好評でした。今年も力入ってますよ(笑)。

新聞学科の授業で学んだクロスメディアなどの広告戦略を、じゃ、学祭の宣伝にも活かそう！という感じですぐ実践しています。アイデアをカタチにして、実際に自分たちの手で配って、受け取ったひとの反応や結果を見るところまでできるのが楽しいですね。今年の法桜祭は11月2~4日に開催。IMPACTのある豪華ゲストと素敵な企画が盛り沢山です！ぜひご来場ください！！

PICK UP ITEM



去年の法桜祭で着たスタッフジャンパー。実行委員の寄せ書きが入った山口さんの宝物。今年の法桜祭では、いつものフェニ男の着ぐるみに加えて、パベットも登場します。

法桜祭公式サイト



新聞学科 3年 山口 紗慧伽

教職員編

そんな学生たちをサポートする教職員にも、熱いストーリーがあった！



政治経済学科 2年 宋 洋

留学生からのメッセージ

私は、中国の政治を変えたいという気持ちをもって、民主化について研究されている岩崎正洋先生のいらっしゃる日本大学法学部に入学しました。先生の授業を受けられることを有り難く思っています。私は「縁」という言葉を信じているので、岩崎ゼミにもぎっと入れる気がしています(笑)。

私は、何より「時間」が自分にとって一番大切な資源だと思っています。技術がこれほど革新しても時間を戻すことはできません。私は中国の大学で2年間経営学を学んだ後にこの大学に入りましたので、少しだけ先輩として後輩にアドバイスするなら、自分が何のために授業を選ぶのか、自分にとって一番価値のある授業を選んでほしいということです。講義を聞いて、試験でよい点をとって、単位をとって、と日本人の学生の方は少し機械的な感じがしています。時間という資源を大切にしましょう。

PICK UP ITEM



この日バッグに入っていた新書本は『政治学の名著30』(佐々木 毅著)。新聞を読んだりレポートを書いたり、日本語の読み書きは何も問題がないという宋さんですが「日本人の方との会話は難しく感じるときがあります」

Olympic Report

あくまで「金」をめざして

ロンドン五輪に競泳800mリレー選手として出場しました。4歳で水泳を始めてからずっとオリンピックに出ると言い続け、母親も「そんなの簡単だよ、頑張れば金メダルも取れるよ」と(笑)。学童記録や中・高校記録も次々と伸ばしてきたので、選考されたこと自体は嬉しいというより、ほっとしたというのが正直なところです。200mバタフライの個人種目が実力的にも一番メダルに近かったのですが(2011年度、国内2位)、この種目で実力をだしきれず選ばれなかったことの悔しさの方が大きかったです。

今回のオリンピックで競泳陣は活躍し、メダルをたくさん獲得したのですが、大会後に僕の所属するセントラルスポーツ研究所の鈴木コーチから「ひとつ残念なことがある。それは金メダルがなかったこと」という言葉を聞き、あらためて4年後のオリンピックでは「金」をめざそうという気持ちが強くなりました。法学部へ入学してすぐに合宿、五輪と続き、なかなか大学へ行く時間がなかったのですが、これからは勉強もできる限り全力でやりたい。心技体、そのすべてがそろってこそその金メダルだと思うし、全力で勉強することが水泳にもつながると思います。2004年、2008年に北島康介さんが金メダルを取って、僕もああいう風になりたいと励みにしてきたように、今度は自分がそういう存在になれるように頑張りたいです。

*800mリレー予選は僅差で9位となり決勝進出をのがした。

政治経済学科 1年 小堀 勇氣



Topics

9月7日～9日に行われたインカレ(日本学生選手権)において男子200m自由形を1分47秒38で制し、200mバタフライとの2冠に輝きました。小堀さんの200m自由形のタイムは、ロンドン五輪800mリレー第1泳者で記録した1分48秒00を上回る記録でした。

小堀さんのベストタイム

- 200m自由形 1分47秒37
- 200mバタフライ 1分55秒08

絵は一生の特技として

日本大学芸術学部の大学院を卒業するまで、ずっと絵を勉強していましたが、絵を描くことを仕事としたいという気持ちはありませんでした。日々仕事をしながら、絵は一生の特技として何かに活かされればいいなと。まさか、職員になった後に、学生時代に描いた絵が母校の(学部は違いますが)会議室に飾られることになるなんて、夢にも思っていませんでした。

法学部の入学センター・会議室に飾っていただいた絵は、「さかなおやこ旅に出る」シリーズの3作目で、「～いい湯だな♪～」という作品。大学生のときに駅弁に入っていた「醤油入れ」を見て衝撃をおぼえ、これは絶対に絵にしよう(笑)。それから毎年、夏休みの自由課題として描き、いつの間にかシリーズ5作目になりました。学生の方たちもいろいろなことに打ち込んでいることと思いますが、「いつ何が起きるかわからない。ある日急に日の目を見たり、何かの役に立つことがあるかもしれない」と言いたいですね。

PICK UP ITEM

大学1年の夏に描いた「さかなおやこ旅に出る」シリーズの原点。油彩、F30号。カメラをぶら下げているお父さん、財布をもつお母さん、姉妹と家族の猫。実はモデルは永谷家。



スポーツで培った体力

法学部、大学院、ロースクールで民事訴訟法を教えています。学生時代はほとんど勉強せず、スポーツに明け暮れていましたが、その分、卒業後に入ったドイツの大学では勉強しきれない、という生活でした。そこで博士号を取り、そのままドイツの大学で教鞭がとれたのは、博士論文が本になり出版されて、それがドイツ最高裁に引用されるという幸運があったおかげです。

ドイツ語で論文を書き、仕事をする間には3日間くらい寝ないことはしょっちゅうでした。ドイツ人が仮に6時間でする仕事で、言葉のハンデがある僕らは12時間かかる。それでも、できないなら日本に帰るしかないわけだから。スポーツで培った体力があったからできたと思います。いまもスキー部のアドバイザーをしていますが、学生にいつも言います、「体力ないと勉強できないぞ」と。個々の「差」というのは、「したかしなかったか」。その差でしかない。日大法学部の学生はみな、やったら伸びると思いますよ。

PICK UP ITEM

1997年にドイツで出版された小田先生の博士論文。出版社は法律関係の本をだしているCarl Heymanns社。



去年卒業したスキー部「ブリット」の女子学生と、軽井沢にて。「時間がとれる限り合宿や試合にも一緒に行きます」